

Topics

新型コロナウイルス感染症への緊急的対応を行っています

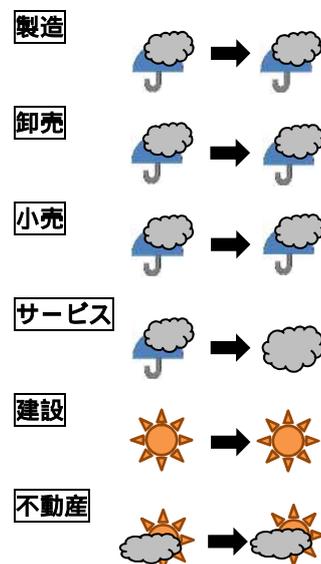
新型コロナウイルス感染症の流行を受け、以下のとおり、各支援機関では、中小企業に向けて緊急対応策を実施しています。

特別相談窓口

- 墨田区** すみだビジネスサポートセンター
住所：墨田区吾妻橋 1-23-20（墨田区役所 1 階）
電話：03-5608-6721（直通）
- 東 商** 東京商工会議所
電話：03-3283-7500
- 東京都** 資金繰りに関して **産業労働局金融部金融課**
電話：03-5320-4877
経営に関して **中小企業振興公社総合支援課**
電話：03-3251-7881

墨田区の業況

< 今期 来期予想 >



詳細は 10 ページへ

支援内容

- 墨田区** 墨田区新型コロナウイルス感染症緊急対策資金
セーフティネット保証 4 号認定（中小企業信用保険法第 2 条第 5 項）
墨田区新型コロナウイルス感染症による区内中小企業等影響調査
の詳細は、[8・9 ページ](#)をご覧ください。
- 東京都** 東京都新型コロナウイルス感染症対応緊急融資
問い合わせ：産業労働局金融部金融課（電話：03-5320-4877）
- 国** 新型コロナウイルス感染症に係るセーフティネット保証 5 号の追加指定について
問い合わせ：関東経済産業局 中小企業金融課（電話：048-600-0425）
雇用調整助成等の企業労務について
東京労働局ホームページをご確認ください。

PICK UP 企業（2019 年 10 月～12 月）

Vol.69 2019-10

株式会社甲人（伝統美の鎧兜と、その伝統美を生かす製品メーカー）

Vol.70 2019-11

株式会社ネモファー（リアルファーファッション製品の専門メーカー）

Vol.71 2019-12

株式会社 GAGEX（カジュアルゲームメーカー）

注目の区内企業に取材し、毎月 1、2 社ホームページ上で紹介しています。



今、注目の企業・
特色ある企業に密
着取材！！

職員取材日記 ダイジェスト

➤ 小宮畳店 ~実はすごい地域の畳店~ (2020年2月7日掲載)

実際に掲載された記事を一部編集して掲載しています。

小宮畳店 ~実はすごい地域の畳店~ (担当者: 観光課 佐々木)

住所: 墨田区横網2-8-12

オリンピックボクシング会場になる国技館と同じ横網町会にある小宮畳店。創業は大正13年。小宮太郎さんは畳店の三代目としてご活躍されています。2019年11月に行われた大嘗祭の儀式のために、畳を納められたとのお話を聞き、取材させていただきました。

Q1 そもそも畳職人をめざした理由は?

家業の継承が親孝行にもなるという価値観からです。

Q2 外国人のお客さまはいらっしゃいますか?

年に10件程度あります。伝統工芸保存会の方からのご縁で、先日は、渋谷にお住いのフランス人の方のお宅を担当しました。オールフローリングの部屋の一部に畳を入れたいとのことで、ご協力させていただきました。帰国される際は、持って帰りたいと言われていました。

伝統工芸保存会の皆さまとは、さまざまなお縁で、繋がっています。例えば、人形の台座などのお仕事をいただいたり、お客様をご紹介いただいたり、ありがたい存在です。

Q3 お仕事で苦労されている点はどんなところですか?

マンションなど、管理が厳しいところは出入りの手続き、車の駐車が煩わしく、しかも、畳の敷き込みなどで発生する騒音にも気を遣うことが多くなりました。家具が多く、配線が入り組んだオーディオ機器やパソコンのケーブル動かすのに苦労することもあります。また、日にちが立つと日焼けすることや、畳表の織しわを変色と勘違いするなど、畳に関する知識がないために、何かとクレームを言われる方が多くなってきました。

Q4 畳職人でなかったら、どんな人生を歩まれていたでしょうか?

不満はありましたが、求められて畳を製作し納め、お客様に喜んで頂くという充実感があります。祖父が千葉の大網から出てきて、色々な職業に就き、最後にたどり着いたのが畳屋です。高い志があったわけではなくそこで実直に腕を磨き、多くのご縁を得て父から私に繋がってきたわけです。ほぼ35年前に宮内庁の仕事を請け負うようになったのもご縁で、一朝一夕ではありません。私はご縁を大切にするのは勿論、関わりを持った方々に畳を通して貢献できるように、畳技法の奥深さの探求もさることながら、現代でも求められる製品を提供できるよう願っています。



小宮さん(右)と甥で後継者の加藤さん(左)

Q5 大嘗祭について

・準備期間はどれくらいあったのでしょうか？

前回の大嘗祭の畳を納めているという実績がかわれ、今回もご依頼いただけたのだと思います。春頃から作り始めました。物品が入手できるかどうかの調査や価格についても調べて準備しておりました。

・具体的に、どこの場所への提供でしょうか？

大嘗祭の儀式で使われる「神座」と呼ばれる通常よりも厚みのある畳などを、大嘗宮（儀式の行われる部屋）で使うために納めました。大嘗祭が終わった後、一部は賢所の祭りごとに使われるものもあります。納品は、大嘗宮ではなく別の場所でした。そこから儀式の部屋への納品は、宮内庁の職員の方が行われたのだと思います。

・どれくらいの畳を納められたのですか？

畳を敷き詰めるイメージでいらっしゃるかもしれませんが、実際には、通常の畳ではなく、いろいろな寸法の畳や御座などをつくり、トータルで100点以上のものを納品しました。

・大嘗祭でご苦労された点がありますか？

イ草だけではなく、いろいろな材料を揃えなければ納められないため、少し苦労しました。

Q6 畳の豆知識や畳の良さのPRをお願いします。

環境に最も優しく、安いリフォーム。イ草の香りが癒し効果をもたらします。畳の部屋は子育てに安心安全、畳の上での生活は衛生的で健康な生活に効果があります。

Q7 今後の展望について、お教えてください。

様々な機会をとらえ、畳のある生活が改めて見直されるような活動を進めていきます。また、事業継承していく甥の加藤がこれからも皆様にご愛顧いただけるよう道筋をつけていきたいです。

小宮さんが今チャレンジ中の「いごも」です。

現在、小宮さんたちは、畳（イ草）だけではなく、稲を使った「いごも」や、藁を使った「わらごも」づくりにもチャレンジされているそうです。残していきたい日本文化の1つである畳、益々のご活躍を期待しております。



大嘗祭(だいじょうさい)とは

毎年11月にある五穀豊穡や国家安寧を祈る「新嘗祭(にいなめさい)」の中でも、即位後初めて行う儀式を大嘗祭といいます。皇位継承に伴い一代に一度だけあり、重要な儀式です。



大嘗祭で使われる「神座」とみられる畳

【特集】SDGs 講演会



令和2年2月4日(月)に講演会「SDGs から見えてくるこれからの中小企業」を開催しました。当日は、基調講演とパネルディスカッションの2部構成で実施し、多くの方にご参加いただきました。この特集ページでは、講演会の内容をご紹介します！

第1部 基調講演「SDGs とは？～持続可能な社会の実現のために～」

蟹江 憲史 氏 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科教授)

北九州市立大学講師、助教授、東京工業大学大学院准教授などを経て現職。専門は国際関係論、地球システム・ガバナンス。SDGs 策定過程から国連におけるSDGs 設定に参画。SDGs 研究の第一人者であり、研究と実践の両立を図っている。博士(政策・メディア)。



SDGs は「2030年の世界の姿」



SDGs は「世界を変革する」、「誰一人取り残さない」というコンセプトのもと、2015年に国連の加盟国が定めた目標で、17ゴールと169ターゲットで構成されています。

特徴は、世界的に目標を共有するという仕組みの新しさ、共通の指標で測るというものさしの新しさ、課題を総合的な視点で考える新しさです。17ゴールのうち、どれか1

つを入口にして課題を考えていくと、社会・環境・経済の問題が包含されているということがわかり、ビジネスチャンスの拡大にもつながっていきます。

SDGs と中小企業の関係

企業理念や経営方針に立ち返るとSDGsのどこかに当てはまるケースが多いです。しかし、現状では会社の取組が17ゴールのどこに該当しているか照らし合わせるだけで終わってしまっています。

SDGs に適応していくため、企業には、あるべき姿・ビジョンを設定する、SDGs と関連付けた中・長期計画を策定する、リスクに対応する この3つが求められていきます。特に最近では、サステナブル融資や投資が増えており、SDGs 的な視点が資金調達まで影響を及ぼしてきています。

大企業などでは率先して取組を行っていますが、一方で消費者の嗜好も変化していきます。今後は、個人レベルでも、未来の視点・目標視点、サプライチェーン全体を踏まえた物事の判断、サステナブルな取組に対する適正な評価・応援 が必要です。新しいことを恐れず、自分なりの方法で少しずつ実行することが大切です。

第2部 パネルディスカッション「企業経営におけるSDGsの意義について」

大川 岳伸 氏（株式会社大川硝子工業所 代表取締役）

1916年に墨田区で創業したガラス瓶メーカーです。今、ガラス瓶の生産量は落ち込んでいますが、すべて天然素材由来のサステナブルな製品として、特にヨーロッパでは需要が拡大しています。

ガラス瓶製造の環境負荷が低いことに着目してここ数年はSDGsを意識しています。最近では、渋谷で活動するゴミゼロウィークというゴミ削減に取り組む団体に所属し、ごみやフードロスの削減にも取り組んでいます。



荘司 美幸 氏（有限会社 ThreeDo's 代表取締役）



制度、風土、ムード、3つのDo(ド)を大切にしながら飲食店を2店経営しています。子どもの貧困に対し、何ができるのか、区内の飲食店同士で考えた結果、「すみだ食堂飲食店の会」という、いわゆる子ども食堂を始めました。

子どもにご飯を食べさせてあげることを通じ、子どもや親の居場所づくりをしたいと思っています。SDGsをとりわけ意識しているわけではないですが、継続した取組となるように、自分たちができることを行っています。

乗浜 誠司 氏（株式会社ナレッジコンサルタント 代表取締役）



メイン事業はITコンサルティングですが、別会社として電力会社を作っています。出身地の種子島で太陽光発電を行うほか、ポンガミアという植物を育て、バイオ燃料として役立てようとしています。

SDGsを知ったのは一昨年くらいですが、すでに共通言語化されつつあるので、これはビジネスにつながれると思い、取り組んでいます。実際にSDGsをきっかけに新たなアイデアが生まれてくることもあります。

山口 明宏 氏（山口産業株式会社 代表取締役）

動物の原皮を製品として使えるようにするなめし加工を行っています。植物由来のタンニンなめしを行い、人と自然と環境に優しいものづくりを目指しています。2019年には「やさしい革の約束」を提唱しています。

様々なプロジェクトを行っていますが、今はJICAを通じて、モンゴルでの技術協力に特に力を入れており、日蒙の両国で支援を受けています。SDGsへの取組がビジネスチャンスにつながっていると実感しています。



SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17ゴール・169ターゲット・232指標で構成されています。

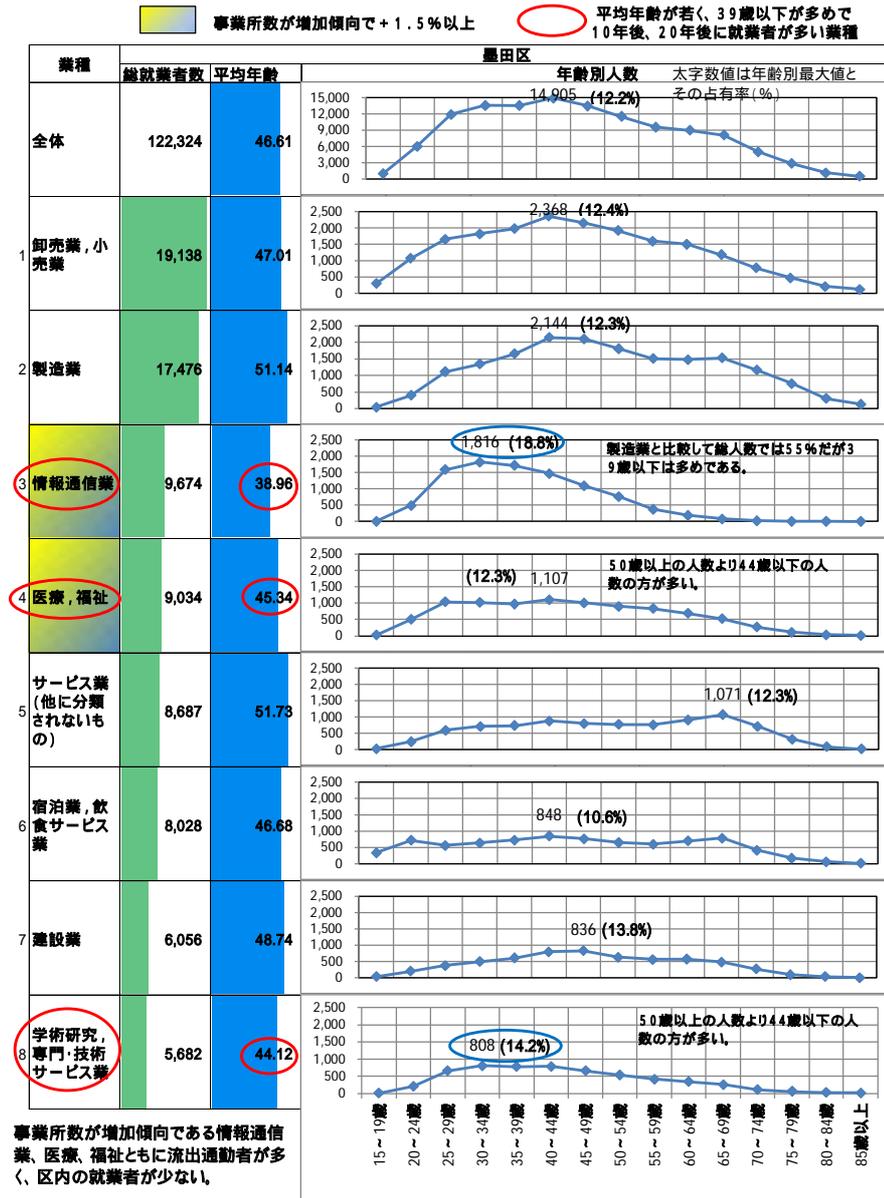


すみだの産業を斬る

区内産業が置かれている現状の把握のためには客観的な指標であるデータの収集・分析が極めて重要です。産業観光部全職員が、産業・観光に関するデータを“1人1データ”収集し、それぞれの視点からすみだの産業について分析したデータを紹介します。

墨田区居住者職業別年齢別人口 (作成者：産業振興課 竹林)

墨田区居住者職業別年齢別人口 平成27年国土調査データ、厚生労働省データより引用



墨田区で就業者数が多い職業は左記の8職業である。

・全国で事業所数が増加傾向なのは情報通信業と医療、福祉業、宿泊業、建設業である。

部

・就業者数が多い卸売業、小売業、製造業は平均年齢が高く、情報通信業、医療、福祉、学術研究業は平均年齢が若い。

部

・各職業の年齢別人口は40～44歳が多いが情報通信業と学術研究は30～34歳が多い。

部

・10年、20年後に働き盛りが多い職業は情報通信業、医療、福祉、学術研究業である。

・特に情報通信業の39歳以下の人口は製造業より多い。

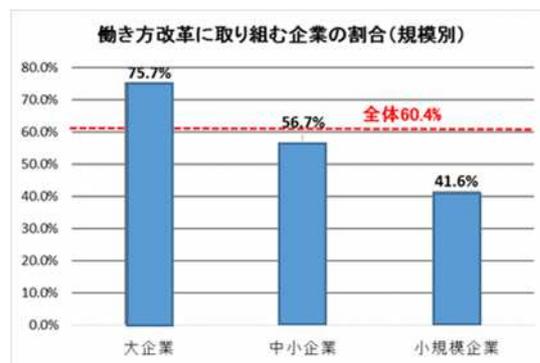
墨田区は、過去には定住就業者が多く、住工一体のものづくりが盛んな地域であったが、10年後、20年後に多くの就業者を惹きつけるまちであり続け、定住就業者を多くするためには、情報通信業、学術研究業、医療、福祉業を増やすことが有効といえそうである。また、就業者数の多い卸売業、小売業、製造業の従事者の若年化が課題である。

すみサポ コラム

今回は中小企業における「働き方改革」についてお話しをします。「働き方改革関連法」は2019年4月に施行され、一部の分野では今年4月から中小企業が新たに適用対象となるなど、その範囲は順次拡大される予定です。今後、企業は従業員に対し、多様で柔軟な働き方の実現や公正な待遇の確保のほか、人手不足の解消や生産性向上への対応がますます求められます。働き方改革について、企業はどのように取り組んでいるのでしょうか。

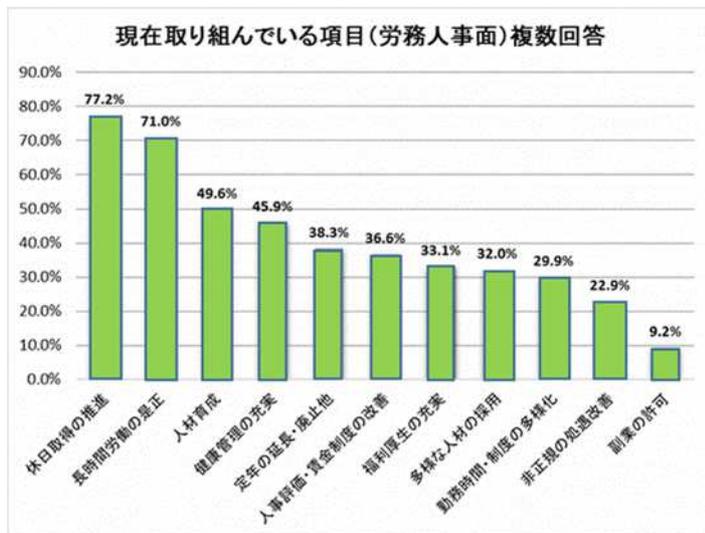
6割の企業が「働き方改革」に取り組んでいる。

帝国データバンクが2019年12月に実施した調査によると、働き方改革に「取り組んでいる」と回答した企業は60.4%。前回2018年調査から22.9%増加するなど、積極的に取り組んでいることが分かりました。しかしながら規模別の取り組み状況では、大企業75.7%に対し、中小企業56.7%、小規模企業41.6%と、大きな差が見られます。



取り組み内容は「休日取得の推進」「長時間労働の是正」

具体的な取組内容としては、「休日取得の推進」(77.2%)が最も多く、次いで「長時間労働の是正」(71.0%)が続き、この2項目が突出して高くなっている。企業からの声として



としては、「法の主旨に基づき休暇を最大限に設け、労働時間の調査と適正な報酬を目指す」、「勤務管理をペーパーレス化し時間管理を徹底させる」など前向きな取り組みが聞かれる一方で、「同一賃金同一労働で人件費が上昇し、赤字になる可能性がある」、「建設現場などは労働時間＝仕事量になるため、時間短縮が所得ダウンに直結しやすい」など、対応に難しさを感じているという意見も多い状況です。

まとめ

働き方改革に取り組むことで、社員のモチベーションを向上させ、生産性が上がり、結果、企業の業績やイメージ向上へつながっていくと考えられます。すみだビジネスセンターに、何なりとお気軽にご相談ください。

データ出典：帝国データバンク「働き方改革に対する企業の意識調査(2019年12月)」

新型コロナウイルス感染症への緊急的対応

墨田区新型コロナウイルス感染症緊急対策資金

新型コロナウイルス感染症の影響で、売り上げが落ち込む等業績が悪化している区内中小企業者を支援するため、新型コロナウイルス感染症緊急対策資金のあっせんを開始しました。

【期間】

令和2年3月4日（水）から令和2年6月30日（火）まで

【内容】

資金使途	運転資金
限度額	1,000万円
利率	年2.0パーセント
貸付期間	6年以内（据置12か月以内を含む）
区の補助（利子）	1.8パーセント
区の補助（信用保証料）	全額補助

【申込条件】

- ・ 中小企業信用保険法に定める中小企業者であること。
- ・ 区内に主たる事業所を有すること（法人は本店登記地及び事業の実態が区内にあること。個人は事業所住所が区内にあること。また、個人のうち区内に住所を有さない者にとっては、区民税事業所課税分を滞納していないこと。）
- ・ 区内において引続き1年以上同一事業を営んでいること。
- ・ 特別区民税(法人は法人都民税)を滞納していないこと。
- ・ 東京信用保証協会の保証対象業種に属する事業を営んでいること。
- ・ 最近1か月の売上高が前年同月比で5%以上減少していること。
- ・ 最近1か月と今後2か月を含む売上高の見込みが、前年同期に比して5%以上減少することが見込まれること。

【必要書類】

- ・ 融資申込書2部（区所定の様式）
- ・ 法人の場合 法人都民税の納税証明書、直近の確定申告書及び決算書
- ・ 個人の場合 直近の確定申告書控、青色申告の場合 青色決算書、白色申告の場合 収支内訳書
- ・ 確認書（新型コロナウイルス感染症緊急対策資金）
- ・ 最近1か月間の売上高の実績と、その後2か月間の売上高の見込みの分かる書類（試算表等）及び前年同期の売上高等の分かる3か月分の書類。

新型コロナウイルス感染症に伴う保証（セーフティネット保証 4号認定）

経営の安定に支障が生じている中小企業者を支援するためのセーフティネット保証制度の認定業務を行っていますが、このたび、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国 47 都道府県がセーフティネット保証 4号（突発的災害、自然災害等）における指定地域に認定されました。

このため、信用保証協会の一般保証とは別枠の保証を利用することが可能となります。

【認定期間】

令和2年3月2日（月）から令和2年6月1日（月）まで

【内容】

保証限度額	無担保保証 8,000 万円、普通保証 2 億円（別枠）
保証割合	100 パーセント保証
保証人	原則第三者保証は不要

【対象となる中小企業者】

- ・ 墨田区において 1 年以上継続して事業を行っていること。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた後、原則として最近 1 か月の売上等が前年同月に比して 20%以上減少しており、かつ、その後 2 か月を含む 3 か月間の売上等が前年同期に比して 20%以上減少することが見込まれること。

【必要書類】

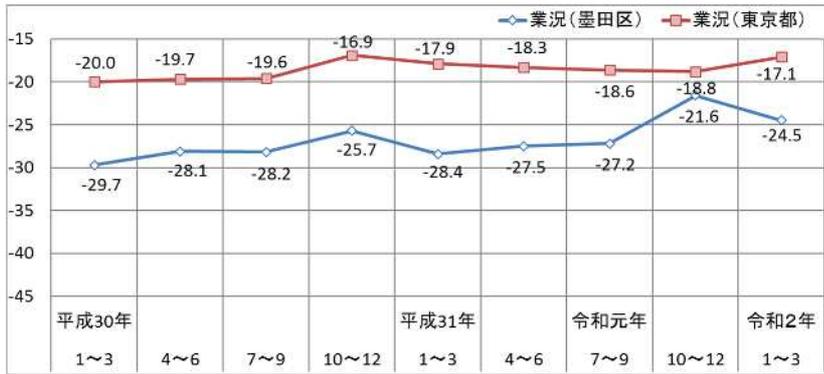
- ・ 認定申請書 2 部（区所定の様式）
- ・ 確認書（区所定の様式）
- ・ 墨田区で 1 年以上継続して事業を行っていることがわかる書類（登記簿謄本、開業届等）
- ・ 確定申告書等
法人の場合：直近の確定申告書の別表 1
個人の場合：直近の確定申告書と青色申告の場合は青色決算書、白色申告の場合は収支内訳書
- ・ 最近 1 か月間の売上高等の実績と、その後 2 か月間の見込みの分かる書類（試算表等）及び前年同期の売上高等が分かる 3 か月分の書類
- ・ 金融機関等が代理で申請する場合：委任状（区所定の様式）

ともに申し込み・問い合わせは
墨田区産業観光部経営支援課融資担当

住所：墨田区吾妻橋 1-23-20 14 階

電話：03-5608-6183

小売業

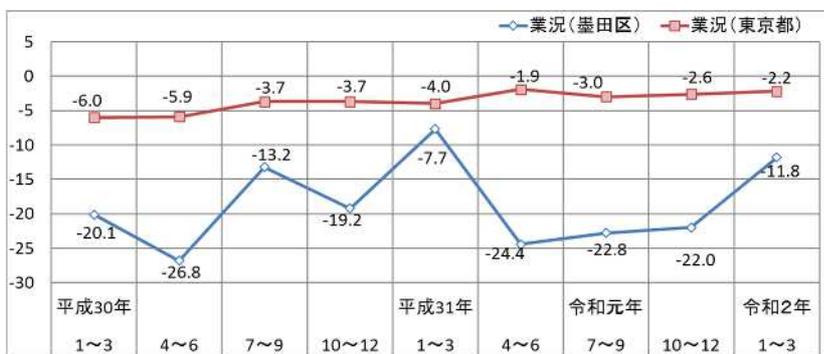


業況は5.6ポイント増の-21.6と幾分明るさが見えた。

売上額は2.0ポイント減の-18.6とわずかに減少した。収益は0.3ポイント減の-15.2と前期並みだった。

販売価格は1.0ポイント増の-4.6と横這いで、仕入価格は2.6ポイント増の10.2と好感が強まった。

サービス業

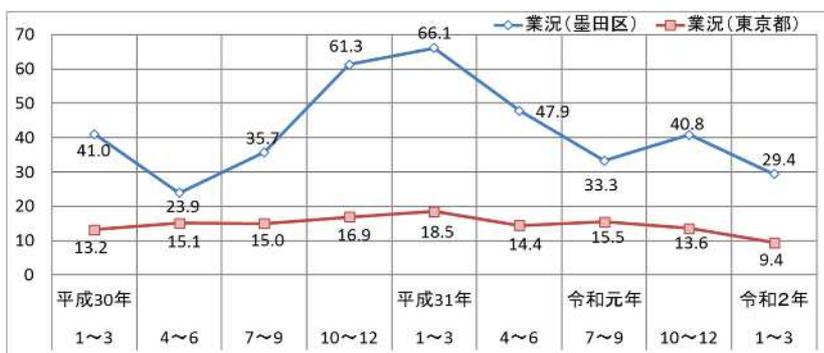


業況は0.8ポイント増の-22.0と横這いである。

売上額は10.5ポイント増の-5.1、収益は11.3ポイント増の-17.1と回復の兆しがあった。

料金価格は7.7ポイント増の6.0と好転し、材料価格は1.4ポイント減の26.0と横這いだった。

建設業

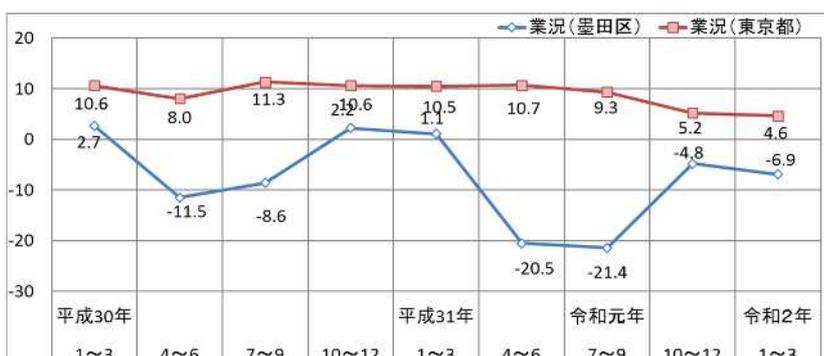


業況は7.5ポイント増の40.8とかなり好感が強まった。

売上額は15.6ポイント増の35.6と大きく増加傾向を強め、収益は18.0ポイント増の24.0と大幅に好調さを強めた。

請負価格は3.7ポイント増の21.5と多少好転を見せ、材料価格は9.9ポイント減の55.2とかなり上昇が弱まった。

不動産業



業況は16.6ポイント増の-4.8と大幅に改善された。

また、売上額は12.8ポイント増の-4.9、収益は1.6ポイント増の-9.4とともに良好化した。

販売価格は2.8ポイント減の7.1とやや上昇傾向であり、仕入価格は2.4ポイント増の9.0とやや良好化傾向である。

『すみだモダン 2010-2018 ブランド認証 商品&メニュー』カタログ



すみだモダン
2010-2018
ブランド認証商品&メニュー



すみだモダン 2010-2018 商品部門
あたらしくある、なつかしくある。
伝統の技とモダンな美を両立させた職人がいます。彼らの心を思い、ひたむきに職人芸を磨きつづける職人があります。日々の暮らしに欠かせないものから、特別な贈り物まで。東京墨田区での2010年から「すみだモダン」のコンセプトに忠実にカタチづくりの美しき商品づくりが展開されています。



すみだモダン 2010-2018 飲食店メニュー部門
あたらしくある、なつかしくある。
食の心を磨きつづける職人がいます。新しい種や素材の活用が次々と見られます。「すみだモダン」飲食店メニュー部門は2010年に誕生しました。あたらしくなっていくメニュー、その伝統とモダンな美を両立させたメニューが展開されています。



1 指かんざし
東京墨田区産の伝統的工芸品である指かんざし。その歴史は、江戸時代から始まり、明治時代には、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されました。現在は、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されています。



2 着物入れ 蓑の裏敷
東京墨田区産の伝統的工芸品である着物入れ。その歴史は、江戸時代から始まり、明治時代には、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されました。現在は、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されています。



3 ヴェルメー 日本お持ち帰り
東京墨田区産の伝統的工芸品であるヴェルメー。その歴史は、江戸時代から始まり、明治時代には、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されました。現在は、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されています。



106 巴風モヤんこ
東京墨田区産の伝統的工芸品である巴風モヤんこ。その歴史は、江戸時代から始まり、明治時代には、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されました。現在は、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されています。



107 ごまだれ餃子
東京墨田区産の伝統的工芸品であるごまだれ餃子。その歴史は、江戸時代から始まり、明治時代には、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されました。現在は、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されています。



108 もったいない料理
東京墨田区産の伝統的工芸品であるもったいない料理。その歴史は、江戸時代から始まり、明治時代には、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されました。現在は、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されています。



109 幸島せいろ
東京墨田区産の伝統的工芸品である幸島せいろ。その歴史は、江戸時代から始まり、明治時代には、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されました。現在は、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されています。



110 雑煮そば
東京墨田区産の伝統的工芸品である雑煮そば。その歴史は、江戸時代から始まり、明治時代には、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されました。現在は、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されています。



111 まぐろしょうがやき
東京墨田区産の伝統的工芸品であるまぐろしょうがやき。その歴史は、江戸時代から始まり、明治時代には、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されました。現在は、東京墨田区産の伝統的工芸品として、海外にも輸出されています。

すみだモダン認証商品を網羅したカタログを配布中！

すみだ地域ブランド戦略事業のひとつとして、すみだらしい伝統と革新性をもつ優れた商品・飲食店メニューを「すみだモダン」として認証してきました。すみだ地域ブランド戦略事業とは、「ものづくりのまち すみだ」の魅力を通して、地域のブランド力を向上させることを目的とした事業です。区は東京スカイツリー®の誘致を契機として、2010年度からこの取組みを始めました。すみだモダン認証事業も9年目を迎え、これまでの認証商品をより広くPRしていくツールとして今回のカタログを作成する運びとなりました。カタログでは商品部門・飲食店メニュー部門の2部門で、すみだの優れた商品・メニューを紹介しています。ギフト選びや、メニューを決める参考にもどうぞ！また、すみだのものづくりの歴史が学べるコラムも多数掲載。日本語版だけでなく、外国の方に向けた英語版、繁体字版もございます。

「ものづくりのまち すみだ」の魅力溢れる商品・メニューをぜひ、ご覧ください！

発行：産業振興課 ☎5608 - 6934（直通）

配布場所：区産業振興課（区役所14階）観光プラザすみだまち処など

発行：令和2年3月 墨田区産業観光部産業振興課 ☎5608 - 6186（直通）